



計画分娩を希望される方へ

計画分娩の実施方法

- 計画分娩は外来診療日の入院となります。
- 8:30 に入院していただきます。
- 子宮頸管熟化不全の場合は器械的頸管熟化処置を行うか、プロスタグランジン E₂ 腔用剤を用いることがあります。その場合は希望日に計画分娩を行えないことがあります。
- 処置開始前に分娩監視装置を装着し胎児健常性を確認します(いわゆるノンストレステスト: NST)。子宮収縮薬の投与中は有害事象ならびに胎児機能不全の早期発見のために分娩監視装置による連続モニタリングを行います。

1. 計画分娩の料金について

- 社会的適応・妊産婦側の希望で分娩誘発を希望される場合(これを「計画分娩」といいます)は保険適用となりません。
 - ・計画分娩料金として管理料 2 万円を追加でお支払いいただきます。また使用する薬剤やディスプレイ・ポータブル器具は実費請求となります。
 - ・無痛分娩(硬膜外麻酔)の場合、硬膜外麻酔および無痛分娩管理として 5~8 万円の追加料金をお支払いいただきます。
 - ・料金はこれらの他に通常の入院料、保険診療の際の自己負担分などが加わります。

2. 分娩誘発不成功の場合

- 分娩誘発は自然分娩より時間がかかることをご理解ください。
- 子宮頸管熟化不全、回旋異常、有効陣痛の発来がない場合には希望日に分娩とならないことがあります(特に妊娠 39 週未満の場合)。このような時は、
 - ・陣痛促進を続ければ分娩に至ると判断した場合には分娩誘発を続行します。分娩誘発の中止を希望される方はお申し出ください。
 - ・分娩誘発を続行すると産婦と胎児の状態に危険が生じる可能性がある場合、まだしばらく分娩に至らないと判断した場合には分娩誘発を中止します。
- 分娩誘発を中止した場合は再度計画分娩日を設定するか、自然経過観察とします。
- 分娩誘発が不成功に終わった場合も計画分娩に関わる料金は返却となりません。

3. 計画分娩に伴う追加処置の可能性(吸引分娩・鉗子分娩・緊急帝王切

開となることがあります)

- 軟産道強靱、回旋異常などにより追加処置が必要となることがあります。
 - 分娩誘発中に産婦と胎児の状態に何らかの異常が発生し、急速遂娩の必要が生じる場合があります。
-

にしじまクリニック 院長殿

計画分娩の内容を理解しました。

私達は令和 年 月 日に計画分娩を希望します。

令和 年 月 日(署名日)

本人の氏名 _____

配偶者氏名 _____